

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
13時45分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係

事務事業 02733 環境基本計画推進事業

電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	002	低炭素社会の実現		
事務事業	001	環境基本計画推進事業		
事業期間	平成12年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	環境基本法、環境基本条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境マネジメントシステム維持管理事務 ・環境基本計画推進事業			

【事業分析】

対象	市民や事業者が、
目的	環境に対する意識が高まり、環境に配慮した行動の実践と連携・協働が図られ、環境都市の実現に貢献します。
手段	安城市環境基本計画に基づき、環境施策を推進します。
事務内容	環境基本計画の策定と環境施策の進捗管理のための報告書の作成を行い、環境審議会で報告し、意見を伺います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	14,233	11,525	5,042
事業費	3,523	305	422
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,523	305	422
人件費計	10,710	11,220	4,620
正規（人）	1.70	1.70	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	環境基本計画記載事業の進捗を管理し、成果指標の現状値を環境審議会にて報告し、市公式ウェブサイト望遠郷にて公表しました。また、令和3年度を初年度とする第2次環境基本計画を作成しました。	第2次環境基本計画の推進にあたり、令和3年度アクションプランを作成し公表しました。また、第1次環境基本計画記載事業の進捗を管理し、成果指標の現状値を環境審議会にて報告し、公表しました。	第2次環境基本計画の進捗を管理し、成果指標の現状値及び令和3年度アクションプランの進捗状況について、環境審議会にて報告し、市公式ウェブサイト望遠郷にて公表します。

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 45 分 42 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02733 環境基本計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
環境報告書の作成	一式	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00
環境審議会の開催	回	3.00	1.00	1.00
		3.00	1.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国や県の計画に即しつつ、市の計画に基づく施策推進が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境施策を計画的に推進する市民ニーズが十分あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	計画の進捗管理において、効果的な事業手法を検討していきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法律や条例に位置付けられた事業であり、適正に遂行しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	安城市環境基本計画に基づき、市民や事業者の環境意識の向上につながる施策を推進し環境審議会において進捗管理を図り、その結果を広く公表することで環境施策の充実に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
13時45分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業

電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	005	環境学習及び環境配慮行動の促進と支援			
事務事業	001	環境学習・意識啓発推進事業			
事業期間	平成 7年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境アドバイザー等支援事業 ・環境意識啓発事業 ・地球温暖化対策地域協議会事業 ・環境学習推進事業 ・環境教育事業 平成29年度末に、環境アドバイザー等支援事業は終了しました。				

【事業分析】

対象	市民や事業者が、
目的	環境への興味・関心を高め、環境に配慮した行動を実践するようになります。
手段	市民団体等と協力し、多種多様な環境学習・意識啓発事業を実施します。
事務内容	市民団体等との環境協働事業の実施、水環境・森林保全啓発に係るイベントなどを開催します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	13,600	15,015	12,786
事業費	7,300	8,415	7,506
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,300	8,415	7,506
人件費計	6,300	6,600	5,280
正規（人）	1.00	1.00	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ました。	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ました。	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ます。

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
わくわくネイチャースクールの実施回数	回	2.00	2.00	2.00
		0.00	0.00	0.00
市民団体等との環境協働事業実施数	回	120.00	120.00	120.00
		171.00	144.00	0.00
あつまれねばの森実施回数	回	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の地域特性に即した環境学習の実施、環境意識啓発が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	広く環境意識を醸成させることの市民ニーズは十分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	わくわくネイチャースクールは実施しませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	より効果的な事業とするよう事業内容等の見直しを行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体における環境学習事業と比較して適正であると考えます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民や事業者の方々の環境に対する意識の向上のため、幅広い分野や内容の環境学習の機会の充実に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和4年8月20日
13時45分42秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係

事務事業 02735 地球温暖化対策事業

電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	002	低炭素社会の実現		
事務事業	002	地球温暖化対策事業		
事業期間	平成21年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生 健全
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、スマートハウス普及促進補助金交付要綱ほか			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・新エネルギー導入事業 ・次世代自動車普及促進事業			

【事業分析】

対象	市、市民及び事業者が、
目的	2050年のカーボンニュートラルを目指し、脱炭素に向けた行動や事業活動を行うようにします。
手段	再エネ・省エネ機器、次世代自動車などの設備類の普及を図るとともに、新たな温暖化対策について研究、実践します。
事務内容	再エネ・省エネ機器、次世代自動車などの購入者への補助金交付と普及のための啓発を行います。また、新たな温暖化対策の具体的な調査研究を行い、より効果的な取り組みを実践します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	37,246	45,391	64,989
事業費	27,796	35,491	41,229
国庫支出金	0	0	3,750
県支出金	5,923	7,139	6,250
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,873	28,352	31,229
人件費計	9,450	9,900	23,760
正規（人）	1.50	1.50	3.60
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付しました。	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付しました。	再エネ・省エネ機器、次世代自動車、集合住宅向けEV等充電設備の補助金の交付 公共施設への再生可能エネルギー導入可能性調査の実施 脱炭素先行地域への応募準備

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02735 地球温暖化対策事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
スマートハウス普及促進補助金の件数	件	300.00	300.00	300.00
		365.00	448.00	0.00
次世代自動車購入費補助金の台数	台	95.00	95.00	70.00
		50.00	73.00	0.00
集合住宅向け電気自動車等充電設備普及促進補助金の件数	件	0.00	0.00	10.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県と歩調を合わせ取り組んでいく必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	再エネ等についての支援に対する市民ニーズは十分にありま		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	次世代自動車購入補助金は目標を下回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	より効果的な補助内容とするよう要綱の見直し等を行いました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	周辺自治体における同種の補助施策と同程度の支援内容です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	拡充
1 次コメント (4 0 0 文字)	2 0 5 0 年カーボンニュートラルの実現に向け、市、市民、事業者各々が、脱炭素を意識した行動を実践していくことが、これまで以上に必要となっています。他の事例等の調査研究により、従来からの取組みの見直しや、新たな取組みの立案により、地球温暖化対策の充実に努めてまいります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
13時46分41秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	044	合併浄化槽普及事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	浄化槽法、安城市生活排水処理基本計画、安城市汚水適正処理構想			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	良好な生活環境で過ごせるよう、河川等の水質改善を図ります。
手段	下水道法に基づき策定された事業計画に定められた予定処理区域及び農業集落排水事業区域以外の地域で単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽（環境配慮型）に転換する者に対し、補助金を交付します。
事務内容	補助金交付申請を受け付け、審査のうえ浄化槽の人槽に応じて補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	10,771	8,987	14,020
事業費	6,676	6,347	10,060
国庫支出金	2,722	2,771	4,682
県支出金	1,337	1,108	2,020
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,617	2,468	3,358
人件費計	4,095	2,640	3,960
正規（人）	0.65	0.40	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	補助基数 実績 8 基	補助基数 実績 8 基	補助基数 計画 16 基

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 46 分 41 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
合併処理浄化槽設置基数	基	16.00 8.00	16.00 8.00	16.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県からの間接補助を活用し、補助事業を推進します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方が、みなし浄化槽及びくみ取り便槽を利用しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画基数を上限に補助事業を推進しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効果的な補助制度を推進しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国・県の動向及び近隣市の状況を考慮し、事業を進めています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 生活排水による公共水域への水質汚濁の低減を図るため、引き続き、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。
1 次コメント (4 0 0 文字)	

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2 次評価を実施していません。
2 次コメント (4 0 0 文字)	

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02739 水質汚濁防止事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	002	水質汚濁防止事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・水質汚濁防止事業 ・環境対策広域事業 ・生活排水対策実践事業 ・油ヶ淵水質浄化事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	水辺の環境やその浄化活動に関心を持ち、河川等の水質改善を図ります。
手段	公共水域の水質状況の把握と、水質浄化のための啓発を行います。
事務内容	市内主要12河川の水質調査を年5回、水質細密及び底質調査を年1回行い、公共水域の水質状況を把握します。油ヶ淵の水質浄化を図るため、「油ヶ淵浄化デー」等の実践・啓発活動を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	5,736	7,873	8,738
事業費	3,216	3,253	4,118
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,216	3,253	4,118
人件費計	2,520	4,620	4,620
正規（人）	0.40	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	河川等水質調査 6回 油ヶ淵浄化デー中止。 アクション油ヶ淵10/4 油流出事故対応 7回	河川等水質調査 油ヶ淵浄化デー 7/25 アクション油ヶ淵10/3 水質事故対応 13回	河川等水質調査 油ヶ淵浄化デー 7/24 アクション油ヶ淵

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 46 分 42 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02739 水質汚濁防止事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
環境基準達成率	%	90.00 81.00	90.00 80.95	90.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内主要河川と油ヶ淵の水質調査をしています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	きれいな河川や湖沼が望まれています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	環境基準を下回る地点があります。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	油流出事故の防止に向けた啓発を推進しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	愛知県、油ヶ淵周辺市と連携して取り組んでいきます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	国、県、近隣市との連携、市民への啓発により、河川等の水質の浄化に努めます。市内の主要河川では、概ね環境基準を達成する状況がみられています。また、近年、基準値に達していない油ヶ淵についても、環境基準を達成しており、引き続き県や近隣市と連携して水質浄化の事業を推進します。 油流出事故は、毎年数回発生しており、事業者への注意喚起により未然防止を図り、事故が発生した場合は、関係機関と連携し、流出した油の回収と原因究明を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02740 公害防止事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	003	公害防止事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・大気汚染防止事業 ・騒音・振動防止事業 ・土壌汚染防止事業 ・悪臭防止事業 ・有害化学物質測定事業 ・地盤沈下防止事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	快適な環境で暮らすことができるよう、公害の発生抑制を図ります。
手段	道路騒音などの公害要素を定期的に測定するとともに、違法性のある野焼きなどの相談については、その都度対応を行い快適な生活環境の実現を目指します。
事務内容	騒音、振動、悪臭、地下水位の測定、工場・事業所等の届出の受理及び市民から寄せられる公害相談に対して原因を究明し、改善対応を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	7,763	9,478	11,138
事業費	3,353	2,878	3,878
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,353	2,878	3,878
人件費計	4,410	6,600	7,260
正規（人）	0.70	1.00	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	自動車騒音調査 1回 臭気測定 3か所	自動車騒音調査 1回 臭気測定 2か所	自動車騒音調査 臭気測定

事務事業評価シート (2 / 2)

6 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 46 分 42 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02740 公害防止事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
自動車騒音要請限度達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県との役割分担に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	快適な生活環境が望まれています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	自動車騒音要請限度を達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	他で補完できるものは、事務を廃止しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国・県の研修受講や他市との情報交換等を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	定期的な自動車騒音測定により、市内の環境状況を把握するとともに、事業者に対する講習会の開催や公害相談があった場合の個別の騒音・臭気測定や指導対応などにより、適正な環境維持に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02741 さわやかマナー推進事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	004	さわやかマナー推進事業		
事業期間	平成27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市さわやかマナーまちづくり条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	快適かつ安全に暮らすことができるよう、さわやかマナーの啓発を図ります。
手段	市民に対し、6つのさわやかマナーの啓発を行います。
事務内容	さわやかマナーまちづくり活動団体の募集、啓発品の提供、年2回程度の啓発キャンペーンを行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	3,146	7,582	7,169
事業費	1,571	2,302	2,219
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,571	2,302	2,219
人件費計	1,575	5,280	4,950
正規（人）	0.25	0.80	0.75
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・啓発活動は中止。代替として、市公民館に啓発用マスクを設置・配布。 ・活動団体 42団体	・年度前半の啓発活動は中止。年度後半は啓発又は啓発品の配布・設置。 ・活動団体 44団体	・啓発活動又は代替策として啓発品の配布・設置 ・活動団体 46団体

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02741 さわやかマナー推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
活動団体登録数	団体	40.00 42.00	40.00 44.00	40.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	さわやかマナーまちづくり条例に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	マナーが守られ、モラルの高いまちが望まれています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	今後も活動団体募集の P R を続けていきます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効果的な啓発及び活動団体の支援を検討していきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市にはない安城市独自の取り組みで進めています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	今後もさわやかマナーまちづくり活動団体によるマナー啓発と、啓発品配布等により、マナー啓発の推進に努めます。また、さわやかマナー推進員などからの意見を参考にし、効果的な啓発方法や支援方法を検討します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	003	5生活安全			
施策の方針	001	5生活安全その他			
事務事業	002	狂犬病予防対策事業			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	狂犬病予防法				
備考					

【事業分析】

対象	犬の所有者が
目的	飼い犬の登録と予防注射を適切に実施することにより、狂犬病予防を図ります。
手段	犬の登録や異動に関する申請の受付を行っています。狂犬病予防注射については多くの市民に実施してもらうよう、公民館等で集合注射を実施します。
事務内容	登録鑑札及び注射済票の交付、各種交付手数料の収納、集合注射等の事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	7,813	8,622	12,215
事業費	4,033	4,332	4,955
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4,033	4,332	4,955
一般財源	0	0	0
人件費計	3,780	4,290	7,260
正規（人）	0.60	0.65	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合注射を中止。	15日間（34会場）で集合注射実施。	12日間（34会場）で集合注射実施。

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
狂犬病予防注射実施率	%	91.80 89.07	91.80 92.70	91.80 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	狂犬病予防法に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	狂犬病予防にとって重要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	高い接種率となりました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	集合注射事務の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	各種手数料は、県内一律に決まっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	近年、国内での狂犬病の発生はありませんが、狂犬病が国内に侵入し流行する可能性は十分考えられるので引き続き事業を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

11 頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02743 防疫活動事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	001	1.1 防災・減災			
施策の方針	007	感染症対策			
事務事業	001	防疫活動事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	蚊等の衛生害虫の発生を防ぐことにより、快適な環境で暮らすことができるようにします。
手段	防疫活動を行う町内会に対し、薬剤配布と散布機器の貸出しをします。
事務内容	町内会への薬剤(油剤、発泡錠剤)の配布及び散布機器の貸出を行います。

【コスト】

(単位:千円)

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	5,211	5,058	7,953
事業費	2,061	1,758	3,993
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,061	1,758	3,993
人件費計	3,150	3,300	3,960
正規(人)	0.50	0.50	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	二兼機貸出延べ台数 61台 薬剤の配布量 油剤 52缶 発泡錠剤 6,919袋	二兼機貸出延べ数 61台 薬剤の配布量 油剤15缶、発泡錠剤6, 833袋 防疫の講習会 15町内会23人参加 在庫薬剤の回収 8缶	二兼機貸出 薬剤の配布 防疫の講習会 在庫薬剤の回収

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02743 防疫活動事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
薬剤の必要数の調査	回	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00
二兼機借用希望調査	回	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	町内会の要望に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会からの要望は近年、減少傾向にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	町内会の要望を考慮し、実施しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	油剤散布する町内会等が年々減少傾向にあります。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	薬剤散布・機器貸出しをしている自治体は少なくなっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	縮小・統合
1次コメント (400文字)	町内会に対し、油剤を極力使用しない防疫活動の啓発に努め、油剤散布と動力二兼機の貸し出しの縮小を推進します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和 4年 8月20日
13時46分42秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02744 市営霊園管理事業

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	001	4都市基盤（住環境） その他		
事務事業	002	市営霊園管理事業		
事業期間	昭和27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市霊園の設置及び管理に関する条例・安城市霊園の管理に関する規則			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	必要に応じて、墓所の確保ができ、墓所を安全かつ快適に利用できるようにします。
手段	市営霊園の環境保全及び施設管理に努めるとともに、市民の墓地需要に応えるよう、計画的な整備により安定的に墓地の提供を行います。
事務内容	霊園使用受付事務、使用承継及び埋蔵届等のデータを管理しています。トイレなどの霊園内施設の管理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	11,830	10,304	10,946
事業費	7,420	5,354	5,336
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	809	709	820
一般財源	6,611	4,645	4,516
人件費計	4,410	4,950	5,610
正規（人）	0.70	0.75	0.85
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。）・総会1回（多門霊園）・組合員の意見を聴く会（安城霊園）	<ul style="list-style-type: none">・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。）・総会1回（多門霊園）・組合員の意見を聴く会（安城霊園）	<ul style="list-style-type: none">・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。）・総会1回（多門霊園）・組合員の意見を聴く会（安城霊園）

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02744 市営霊園管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
墓所申込数 / 返還墓所数	%	100.00 106.00	100.00 65.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間需要とのバランスを取りながら実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	1 世帯 1 墓所という風潮が無くなってきています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	墓所を返還する人が増えてきています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	施設の老朽化が進んでいるため、適切な管理・検討をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	将来に向けて、長期的な管理・運営方法の検討が必要です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	お墓は、何世代にも渡り利用されるものであるため、霊園施設の計画的な補修をし、サービス水準の維持に努めます。また、少子高齢化、核家族化など社会情勢が変化している中で時代に合ったサービスの在り方についても霊園管理組合と協議しながら検討していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。